

えびなの未来を、創造する。



海老名市職員インタビュー

令和7年度版

目次



01

先輩職員インタビュー（職種別）

一般事務職

技術職（土木）

技術職（建築）

保健師

保育士

消防職



19

先輩職員インタビュー
(育休経験者)

21

先輩職員インタビュー (監督職)

20

先輩職員インタビュー
(部分休業取得者)

22

勤務条件等

一般事務職

令和2（2020）年度入庁
市民協働部 文化スポーツ課



海老名市を志望した理由

一番大きな理由としては、近隣市の中で一番活気があり、やりがいのある職場であると感じたからです。現に今の海老名市は色々なところで開発が進みつつ、イチゴなどの農業などにも盛り上がりのある市です。

私は座間の出身なので、身近な海老名が発展していくのを見ていて、ここで働きたいなと思いました。

現在の業務内容

現在はスポーツ施設の整備関係の業務を行っており、新設のスポーツ施設を整備したり、既存施設の改修計画を立てたり、主にハード面の業務を担当しています。

その他にも課としてはスポーツ大会の開催等を行っているので、その準備や運営など体を動かす業務もしています。

やりがいをを感じる瞬間

ありきたりではありますが、相手から感謝されたりお褒めいただける瞬間がやりがいを感ずります。

私が文化スポーツ課へ配属された年に担当した駅伝大会は、右も左もわからない中で準備を進めていきましたが、大会後にランナーの方々から「楽しかったです」「また来年も出たいです」などお声がけいただき、頑張ってた良かったと思えました。

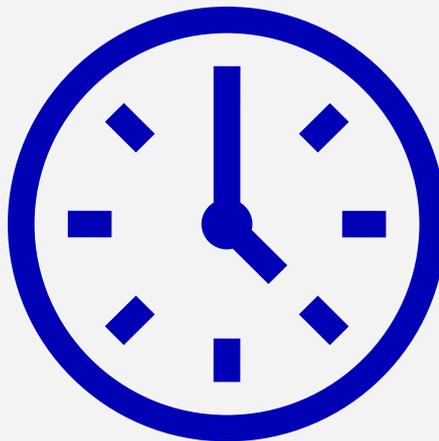
印象に残っている仕事

恐らく今担当しているスポーツ広場の新設業務が、今後を含めても特に印象に残る業務と思います。

河川敷に80,000㎡弱の広場を作っており、庁内での合意形成や関係機関との協議など、やることの多さには正直驚いています。それでも、ひとつひとつ課題を解消できていくことが、プチ達成感のように感じています。すべてが完成したときにはより大きな達成感を得られるように頑張っています。

1日のスケジュール

8：25
出勤・朝礼
▽
8：30
窓口業務
▽
10：00
打合せ



12：00
お昼休憩
▽
13：00
イベント準備
▽
17：15
業務終了

受験者へ一言

社会人になるプレッシャーは大きいと思いますが、市民のためになる仕事ができるいい職場だと思います。

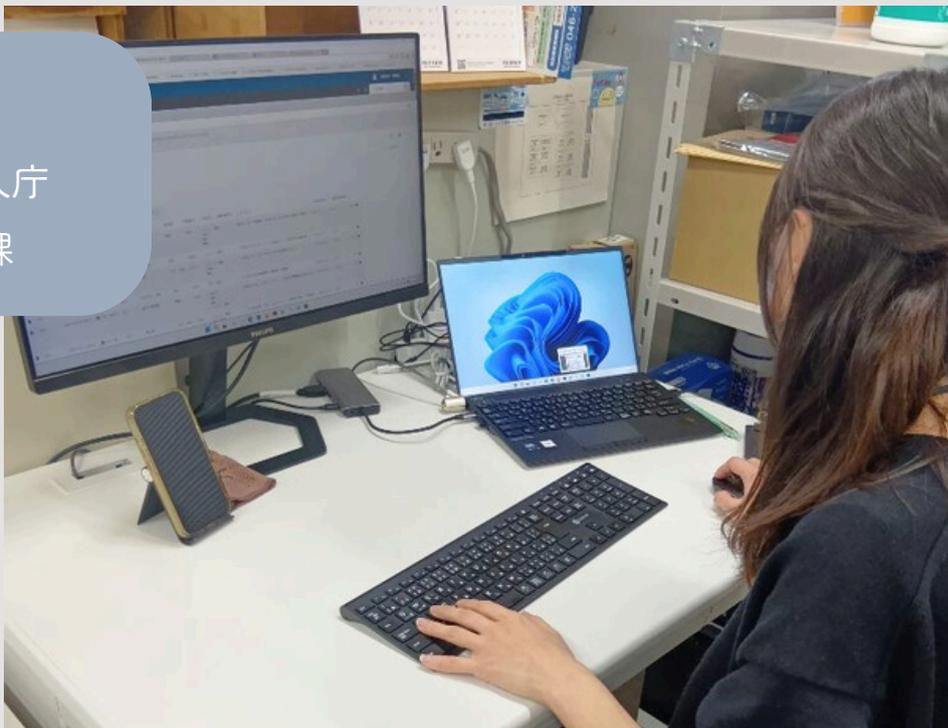
課ごとに雰囲気も違いますが、文化スポーツ課はみんなで楽しく仕事してます。

ただ仕事をしてるだけだと続かないと思うので、ぜひやりたいことを見つけてください。

一緒に働けることを楽しみにしています。

一般事務職

平成27（2015）年度入庁
財務部 デジタル推進課



海老名市を志望した理由

直接のきっかけは海老名市に転入したことです。就職を機に神奈川に来ましたが、自分にとって出身地は今でも特別な場所で、自分が出身地に愛着や誇りを感じているように、ここで育つ子どもたちにとっても海老名市が誇れる場所になってほしいと考えるようになりました。前職では民間企業でIT関連の業務に携わっていましたが、実際に暮らす中で、子育てや生活に身近な行政サービスを実感する場面が多く、自分のスキルを行政の仕事に活かしたいと思いました。

現在の業務内容

現在はデジタル推進課で、行政手続のオンライン化や庁内業務のデジタル化を担当しています。キントーンを活用した業務アプリの作成支援やLINEを使った電子申請構築、各課からの相談対応、事業者との調整などが主な業務です。職員の業務負担軽減や市民の利便性向上につながるよう、業務を行うことを心がけています。

やりがいを感じる瞬間

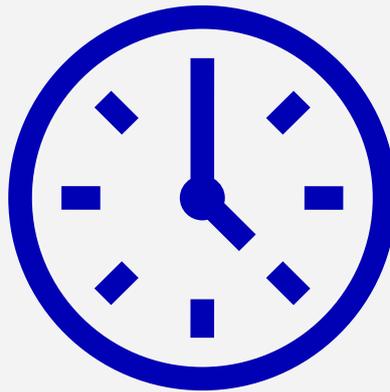
知り合いの市民の方から、「海老名市のLINEでオンライン申請ができるようになって便利になった」と声をかけられたときは、とても嬉しく感じました。また、職員から「作業が楽になった」「相談してよかった」と言ってもらえたときにも、やりがいを感じます。業務の裏側を支える立場として、現場の困りごとに少しでも応えられていると実感できることが励みになります。小さな改善でも、日々の業務が少し楽になることで、働きやすさにつながっていくと感じています。

印象に残っている仕事

印象に残っている仕事は、海老名市LINE公式アカウントのリニューアルです。デジタル推進課の立ち上げ時に、担当職員皆で初めて一緒に作り上げた仕事でした。メニュー構成やオンライン申請の実装、ポスターや動画などの広報まで話し合いを重ねながら進め、実際にリニューアルできたときは大きな達成感がありました。皆で相談を重ねながら、形にしていく難しさと面白さを学びました。

1日のスケジュール

8:15	出勤		
	▽		
8:30	メール・チャット確認 当日のタスク整理		13:00 業務アプリの 修正・検証作業
	▽		▽
9:00	所管課との打ち合わせ		15:00 事業者との オンライン打ち合わせ
	▽		▽
10:00	起案など事務作業		16:00 電子申請フォーム構築
	▽		▽
12:00	お昼休憩		17:00 進捗整理、翌日の準備
			▽
			17:15 退庁



受験者へ一言

市役所の仕事は多岐にわたり、さまざまな分野に関わることができます。大変なこともありますが、周囲と相談しながら進められる環境があり、自分の役割を見つけて成長していける職場だと感じています。ぜひ一緒に働ける日を楽しみにしています。

技術職（土木）

平成25（2013）年度入庁

まちづくり部 市街地整備課



海老名市を志望した理由

公務員だった父の影響もあり、自然と私も公務員を目指すようになりました。その中で公務員として働くなら、やはり地元の海老名市の発展に貢献したいと思ったのがきっかけです。

また当時、海老名市では圏央道開通における渋滞対策として、周辺道路の整備を積極的に進めていましたので、大学時代に学んだ土木の知識を活かして、その業務に携わりたいと思い、受験しました。

現在の業務内容

海老名駅東口自由通路延伸事業を担当しております。海老名駅東口の既存自由通路から海老名市役所方面へ延伸する事業で、安全快適な歩行空間の確保、渋滞緩和、利便性・回遊性の向上等を目的に進めています。

現在、設計業務を行っており、設計会社と調整を進めているところです。また、自由通路の整備予定箇所には電力管や水道管等、多くの地下埋設物が埋設されていることから、この移設や近接工事に向けて様々な関係者と打合せや現場立会いを行い、工事がスムーズに進むよう取り組んでいます。

やりがいを感じる瞬間

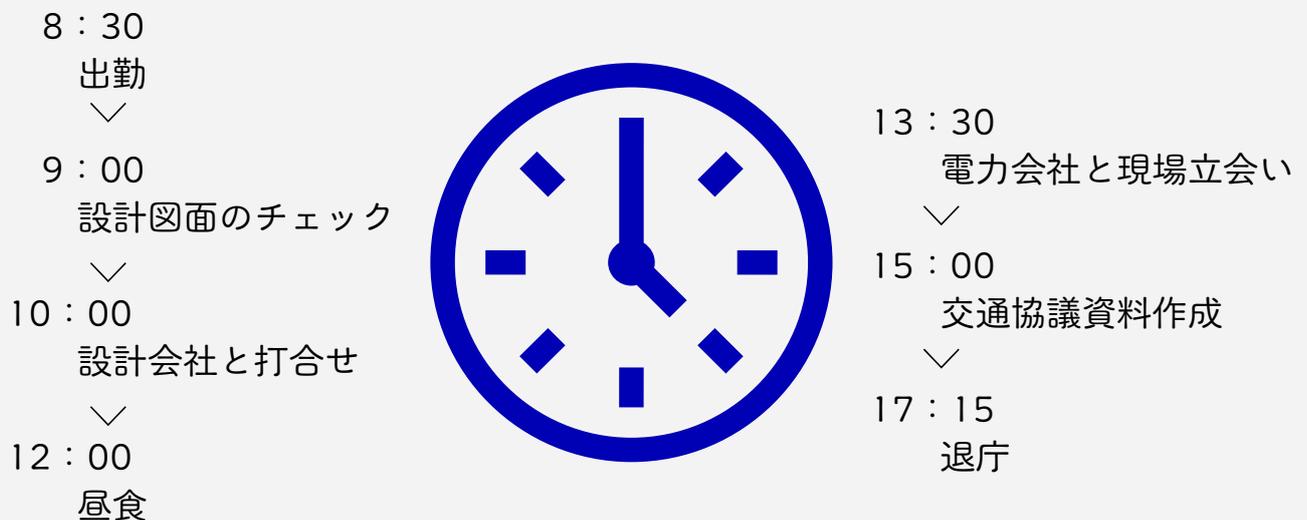
私たち土木職の仕事は形に残ります。インフラ施設の設計・工事監督を行い、完成させた時の達成感是他ではなかなか味わうことができません。

また、完成した施設を多くの方に使っていただき、感謝のお言葉をいただくと頑張ってきて良かったなと感じます。

印象に残っている仕事

海老名駅北口駅前広場の整備を担当したことです。相鉄線北口改札の供用開始時期が決まっていたこともあり、その時期に併せて駅前広場も供用開始できるように沿線地権者への説明や工事間調整等に駆け回っていたのを覚えています。現在も多くの方に使っていただき、感慨深いです。

1日のスケジュール



受験者へ一言

人口減少が進む中で海老名市は人口が増えている数少ない市です。駅周辺を中心に魅力的な施設が増えていることが要因の一つですが、これらを支えているのが行政が行う道路や自由通路等の都市基盤整備です。この都市基盤整備をきっかけにして民間施設の開発が進むからで、私たち土木職の仕事が市民の生活やまちの発展に直結していると言えます。

ぜひ私たちと一緒にまちづくりを進め、海老名市の未来を築きましょう！

技術職（建築）

平成29（2017）年度入庁

財務部 営繕課



海老名市を志望した理由

前職は民間の設計事務所や施工会社などを経験しましたが、知人からの話で官公庁職でも同様に建築に携わることが出来ることを知り、興味を持ちました。海老名市は、親族が暮らしていることもあり、身近であたらしいことも取り入れる魅力的なまちだと感じたので志望しました。

現在の業務内容

市の所有する公共施設について、新築、改修などの設計や工事の監督を通して、工事の品質や進捗状況などを監理する仕事です。

工事発注する設計図や工事内訳をチェックしたり、工事現場にて工事書類の確認や施工状況に問題ないかなど確認を行っています。

やりがいを感じる瞬間

一つ一つの工事が完了するときにやりがいを感じます。

設計や工事の間にさまざまな問題が発生したとしても、その都度対処法を検討し、最後に完成したものが施設を利用する人に喜んでもらえるとき、モノづくりとしての達成感がありうれしいです。

印象に残っている仕事

小学校の外装改修を担当したときに、工事中の仕様変更などが生じ、変更契約として議会に諮る必要がありました。

初めての議会案件だったので、スケジュールの調整や受注業者との金額の協議などに苦労しました。

しかし、最後には見違える校舎に生まれ変わって、とても達成感を感じることができた仕事です。

1日のスケジュール

9：30

出勤・始業



10：00

庁内打合せ・資料作成

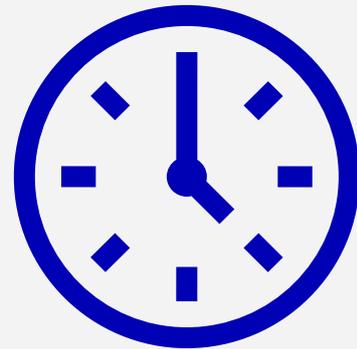
（新規事業の打合せ

・理事者協議資料の作成など）



12：00

お昼休憩



13：30

工事現場定例会

（工事関係者との進捗確認、
現場確認、材料検査など）



16：00

工事発注資料のチェック

・委託設計事務所への指示確認など



17：15

退勤

※8：30～9：30の1時間 子育て部分休業を取得中

受験者へ一言

自分が関わった建物が、地域の人や子どもたちに長く使われ続ける仕事です。

モノづくりの楽しさや誰かの役に立てる仕事として海老名に貢献したい方、一緒に働ける日を楽しみにしています。

保健師

令和5（2023）年度入庁
保健福祉部 健康推進課



海老名市を志望した理由

最寄り駅として海老名駅を学生のときから利用しており、駅付近にはなりますが街並みの変化や人の流れの変化を実感していました。保健師として働く際に、沢山の方が行き交う海老名市で、さまざまな市民の方に出会い、経験が積めると思ったからです。

現在の業務内容

地域組織活動である「健康えびな普及員会」を主に担当しています。

健康えびな普及員会は、健康づくりの普及啓発を市と共に行ってください市民からなる組織です。毎月の定例会や普及員会主催の健康教室など一緒に行ったり、普及員の派遣調整なども行います。また、普及員の担い手となる方の募集・育成するための教室も担当しています。

やりがいを感じる瞬間

普及員と一緒に地域に出て教室を実施して、健康づくりの普及をしているときがやりがいを感じます。そのときに担当になった普及員だけでなく、参加された方々ともお話ができ、どのような測定をしたいのか、どんなことに困っているのかなどニーズを知ることができるからです。

市民の方から電話相談があった際に、「ありがとう」と言ってもらえ、相手がほしい情報になっているのかなど色々と考えながらお話をしていたので、やりがいを感じました。

印象に残っている仕事

健康推進課の大きなイベントの1つでもある「えびな健康フェスタ」が印象に残っています。「食」「運動」「社会参加」を通じ、未病改善に取り組むきっかけづくりを目的としているイベントで、健康推進課が所管している「食生活改善推進団体」「健康えびな普及員会」からなる実行委員とともに企画・調整・実施しました。はじめての大きなイベントの担当になったので進行に悩み、良いイベントとなるように課と実行委員の意見をまとめてかたちにしていくことに苦労しましたが、団体や来場者の方の笑顔が見れ、無事にイベントも終了でき、楽しいときとなったので印象に残っています。

1日のスケジュール

8:10

出勤



8:25

朝礼

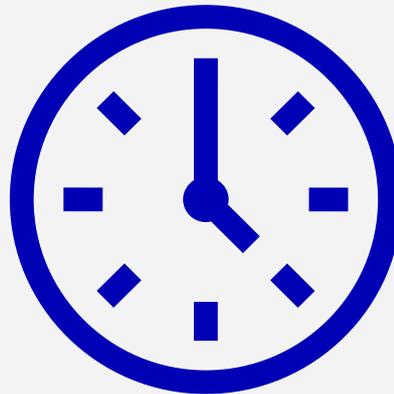


8:40

健康づくり講座準備
(会場、講師との調整)

9:30

健康づくり講座



12:00

お昼休憩



13:30

健康えびな普及員会
役員打合せ

15:30

庶務事務
電話対応など

17:30

退勤

受験者へ一言

保健師としてだけでなく、行政保健師として様々な業務や経験を他課や他職種連携を通してできます。

分からないことは先輩や同僚に相談しつつ、仕事を進められます。ぜひ、海老名市と一緒に保健師として働きませんか。

保育士

平成27（2015）年度入庁

保健福祉部 保育・幼稚園課



海老名市を志望した理由

海老名市を志望した理由は、他自治体に先駆けて新しい施策を断行する『チャレンジ精神』と『スピード感』に強く惹かれたからです。

前職では、アパレル関係で務めていましたが、民間企業でスピードと成果を重視してきた私にとって、『現場のニーズに即して仕組みをアップデートし続ける海老名市の風土』こそが、最も貢献できる場所だと確信したため志望しました。

現在の業務内容

- ・ 公立保育所の維持管理業務
- ・ 保育所・幼稚園合同研修会企画・運営
- ・ 保育所・幼稚園合同就職フェア企画・運営
- ・ 架け橋プログラム推進協議会役員

現在は、現場から離れ行政側で業務を行っています。特に設置主体の異なる施設の連携（保育所・幼稚園・認定こども園）と小学校を繋ぐ「調整役」として、広域的な連携基盤の構築を担っています。

やりがいを感じる瞬間

私がやりがいを感じる瞬間は、二点あります。

一点目は、窓口での相談業務です。窓口には切実な思いを抱えた方が多く来られます。制度の枠組みを説明しなければならないこともあります。丁寧に対話を重ねる中で、最後には『話を聞いてもらえてよかった』など表情を和らげて帰られる姿を見たときに、大きなやりがいを感じます。

二点目は、行政の仕組みそのものをアップデートしたときです。具体的には、公立保育所のICTシステムの導入に携わりましたが、保育者からは『子どもと向き合う時間が増えた』、保護者からは『利便性があり、時間を効率的に利用できる』などの声をいただきました。仕組みを整えることが、私の考える行政職の使命であり、やりがいです。

印象に残っている仕事

印象に残っている仕事は、シンポジウムにパネリストとして登壇した経験です。海老名市の『公私連携』の取り組みを全国へ発信した際、自治体関係者から多くの反響をいただきました。

一方で、私自身は『海老名の成功を一時的なブームで終わらせてはいけない』という強い危機感も抱きました。多くの反響をいただいたからこそ、この実践を学術的な理論として確立し継続したいという気持ちもあり、現在、保育士としての専門性を高めるために、勉強中です。

1日のスケジュール

8:30

出勤

チャット・メールの確認

一日のタスクの確認

▽

9:00

施設管理に係る業務の確認

▽

10:00

窓口対応



12:00

お昼休憩

▽

15:00

打ち合わせ

▽

17:15

明日のやるべきことの確認

退勤

※状況に応じて残業あり

受験者へ一言

私は民間企業から転身し、現場と行政の両方を経験しましたが、この街には『良いものはすぐに取り入れる』という圧倒的なスピード感があります。

大変なこともありますが、自分が担当した仕事が、目の前の子どもたちや保護者の笑顔に繋がった瞬間、この仕事を選んでよかったと心から思えるはずです。

一緒に、海老名から日本の教育・保育の未来を創っていきましょう。

保育士

令和7（2025）年度入庁

保健福祉部 保育・幼稚園課
柏ヶ谷保育園



海老名市を志望した理由

海老名市は、都市の利便性と自然の調和がとれた魅力的な市だと感じています。鉄道は3路線ありアクセスの良さもあり、駅周辺の公共施設も充実しています。一方で、河川敷や公園、田園風景など、自然が身近に感じられる環境でもあります。都市部分だけでなく、自然も近くに感じられる海老名市に魅力を感じたため、志望しました。

現在の業務内容

現在は2歳児クラスを担当しています。

子どもとともに過ごす中で、遊びを楽しみ、生活に必要なこと（トイレや食事など）を一緒にしながら伝えたり、社会性や考える力を見守ったり、一人ひとりの発達に合わせた保育をに取り組んでいます。

また、保護者への日々の連絡や、保護者からの子育て相談に乗ることも重要な業務の一つです。

やりがいを感じる瞬間

子どもたちと日々過ごす中で小さな変化や成長を間近で感じたときや、子どもから「ありがとう」「大好き」といった言葉や笑顔を向けられたときに、やりがいを感じています。

また、保護者からいただく感謝の言葉も励みになっています。

印象に残っている仕事

子どもたちと、泥団子作りを行った時期があります。ピカピカの泥団子を作るために、子どもたちと一緒にいろいろな案を出し合いました。そういったときに、子どもから大人が思いつかないようなあっと驚くアイデアが生み出されるのです。

子どもの発想の柔軟さや素晴らしさを感じ、保育が心から楽しいと思えた経験でした。

1日のスケジュール

7:00

早朝保育



8:30

クラスで保育



9:15

0~2歳児 おやつ



~11:00

好きな遊び



11:20

給食



12:30

お昼寝

休憩、保育の準備



15:00

起床・おやつ

好きな遊び



16:30~19:00

長時間保育

受験者へ一言

海老名市では今、子ども一人ひとりが輝く「主体的保育」の実現に向けて、市全体で一歩ずつ歩みを進めています。

特徴的なのは、非常にオープンな環境であることです。公立・私立の枠を越えた合同研修だけでなく、（時には園庭の環境づくりのために土を譲り合うなど）現場レベルで資源や知恵を共有し、園の垣根を越えて協力し合っているので、園内でも誰もがフラットに意見を言い合える雰囲気を大切にしています。

年次や経験に関わらず、日々の気づきを共有し、みんなでより良い保育を模索している真っ最中ですよ。変化の途中にある今だからこそ、あなたの感性や視点が海老名市の保育をさらに深める大切な力になります。試行錯誤を繰り返しながら、これからの保育を一緒に形にしていける、そんな仲間に出会えることを楽しみにしています！

消防士

令和6（2024）年度入庁

消防本部 第2警備課



海老名市を志望した理由

私が海老名市を志望した理由は、祖父が海老名市の消防士として働いており、幼少期から消防署へ足を運び、消防車や祖父の働く姿を見て、強い憧れを抱き海老名消防を志望しました。幼いころから祖父を追いかけていた私は、少年消防クラブに2年間所属し、祖父をはじめとする消防職員の姿を近くでみることができ、より消防という世界へ興味を持ちました。消防という職業は、優れた身体能力と専門的な知識、強い精神力を必要とするため、私には荷が重いと決めあぐねていましたが、周囲に背中を押してくれる方がいたおかげで勇気をもって採用試験に挑戦することができました。応援してくれている周囲の期待にこれからも答えるため、そして、祖父のような優しくカッコいい人間になるため、日々訓練や勉強をがんばります。

現在の業務内容

半年間の初任教育を終え、第二警備課救助係へ配属していただきました。人命救助の専門部隊として、火災時は要救助者の救出を最優先とし、安否確認や水難救助、事故や危険物等の災害にも出動し最前線で活動します。救助隊は市内で一隊のみの運用となっており、100種類を超える資機材を活用し様々な災害に対応します。そのため災害時以外は勉強や訓練を日夜行っています。災害に備える訓練だけでなく、導入資機材の検討や災害の検証、火災後の原因調査等も行います。業務内容は災害対応のみではなく、幼稚園や小学校の庁舎見学や中学校の職場体験等の市民対応、出初式や市民祭り等のイベント対応も業務の一環です。

やりがいを感じる瞬間

やりがいを感じる瞬間はたくさんあります。お子さんから手を振ってもらえたり、イベント対応をしているとき。練習や勉強してきたことが訓練や現場で発揮できたとき。災害現場で要救助者のご家族や近所の方にねぎらってもらった時などです。お子さんに人気があったり市民の方々に深い理解が得られているのは、市民の方々の優しさはもちろんのこと、過去の職員の皆さんが積み上げた信頼だと思えます。その信頼を裏切ることが無いように誠心誠意、職務に従事していきます。

印象に残っている仕事

忘れることができない災害でまず思い浮かぶのが、初任教育から帰ってきて初めて被害の大きな災害現場に直面したことです。人的被害もありましたが、配属されたばかりで私はあまり現場活動に貢献できず、悲しい気持ちと同時に何もできない自分に嫌気がさしました。その災害で命の尊さと、自分の無力さを知りました。今はあの頃よりできることも増えましたが、できないこともわからないことも正直たくさんあります。一年目だと甘えず、訓練を積んだからとおごらず毎日勉強と訓練に励みます。

1日のスケジュール

7:30	出勤・勤務の準備	19:00	夜の申し送り
▽		▽	
8:25	大交代	19:30	自己啓発（訓練や勉強）
▽		▽	
8:30	車両及び資機材点検	21:40	入浴
▽		▽	
9:30	朝の申し送り	22:00	通信業務（電話対応等）
▽		▽	
10:00	午前の日課へ移行（訓練など）	0:00	就寝
▽		▽	
12:00	昼休み	6:30	起床
▽		▽	
13:00	午後の日課へ移行（訓練など）	7:00	清掃及び交代準備
▽		▽	
17:00	車両及び無線の定時試験	8:25	大交代
▽		▽	
17:30	自己啓発（訓練や勉強）	9:00	退勤
			※勤務時間内であればどんな時でも災害に出動します。

受験者へ一言

試験は筆記・体力・面接があるかと思います。試験を受けようか迷っている方や、憧れや想いが強い分緊張もするし、不安な気持ちになる方もいると思います。私には「がんばれ」と応援することしかできませんが、消防という仕事は皆さんが考えているよりかっこよくて尊い仕事です。もちろん大変で辛いこともたくさんあります。それでもがんばった分だけ得るものもたくさんあります。できないことや自信がないことは大抵練習すればできるようになるし、それでもできなければ周りの仲間や先輩が手を差し伸べてくれるので安心してください。一人でも多くの方が勇気をもって、後悔のない選択をしてくれると嬉しいです。受験する方は元気にがんばってください。

消防士

平成31/令和1(2019)年度入庁

消防本部 予防課



海老名市を志望した理由

生まれ育った町である海老名市に貢献できる仕事がしたいと思い志望しました。その中でも消防職を選んだきっかけは、小学生の頃に海老名市少年消防クラブに所属していたことです。活動の中で、東日本大震災の現場で救助活動にあたった職員の話聞く機会があり、消防の仕事は決して楽な仕事ではないことを知ったと同時に、誰かがやらなければいけない仕事であり、どんな状況でも逃げずに人命を救おうとする姿に憧れを抱きました。

現在の業務内容

現在は予防課危険物指導係に所属しており、危険物施設への立入検査や設置・変更に関する業務を行っています。具体的には危険物施設を新規設置又は変更する際に、法令に適合しているか書類審査をします。その後審査した書類を元に現地で完成検査を実施し、問題がないかを確認していきます。その他にも、少年消防クラブへの指導やInstagram等を使用した広報活動を行っています。

やりがいを感じる瞬間

やりがいを感じる瞬間は、何も起きていない平和な日常を実感できる時です。予防課の仕事は火災や事故が起きてから対応するのではなく、未然に防ぐことが目的です。そのため、何も起きていないこと自体が仕事の成果だと感じています。また、予防技術検定に合格した時や大型自動車免許を取得できた時は、自分の努力が形になり、達成感を得られた瞬間でした。

印象に残っている仕事

給油取扱所の設置に関わる業務です。給油取扱所は危険物を取り扱う施設のため、設置にあたっては、着工前の書類審査から完成まで、長期間関わります。関係する法令も多く、確認作業では、自身の知識不足を痛感することもありました。また、完成前の検査では、地面に大きなタンクを埋設する様子を実際に見て、「ここで事故が起きれば大きな影響が出る」という責任の重さを実感し、非常に印象に残っています。

1日のスケジュール

8：30
出勤



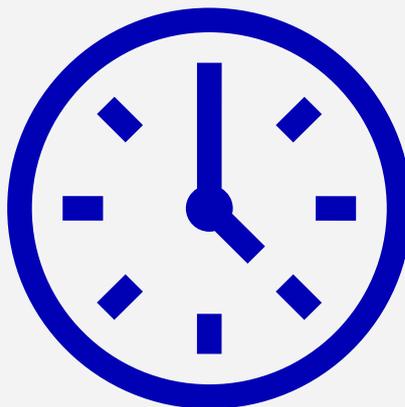
9：00
届出の受理作業



10：00
業者との事前協議



12：00
昼休み



13：00
立入検査



15：00
書類審査



17：15
退勤

受験者へ一言

体力面や人間関係など様々な不安があるかと思いますが、海老名市消防本部には、困った時に声をかけてくれる面倒見のいい先輩たちがいます。また、女性職員も働ける環境づくりが進められていて、性別関係なく活躍しています。ぜひ、私たちと一緒に海老名市の安全・安心を守っていきましょう。

育休経験者

平成26（2014）年度入庁
経済環境部 商工課



育休取得時の仕事内容

- ・市内の中小企業や個人事業主への補助金交付業務。
- ・市内への移転や事業拡大を希望する企業への補助金交付業務。

制度の取得しやすさ

育児休暇の取得に際しては、職場の皆様から温かいご理解とサポートをいただきました。

育児休暇の取得期間については、自分自身が希望する形で調整させていただきました。初めての取得で不安な点も多かったのですが、職員課の方々の丁寧なフォローのおかげで、疑問が解消され、大変助かりました。

制度の取得を考えた際の不安

新年度になり課内の体制が大きく変化したため、在籍年数の長い私が休むことによって「業務が滞ってしまう」「課内の業務負担が増えてしまうのではないか」という不安を感じました。しかし、上司や課内の皆様のサポートのおかげで、業務が滞ることはなく、育児休暇明けも円滑に仕事へ復帰することができました。

制度を取得して良かったこと、気づいたこと

初めての子育てを通じて、子育ての大変さを実感しました。それと同時に、家族で協力して子育てを行う気持ちが一層強くなりました。また、仕事をする上でも、職員間で支え合うことの大切さを改めて認識しました。

受験者へ一言

育児休暇を取得できたのは、日ごろから支え合う職場内の体制があったからだと思います。受験者の皆様には、長期的なキャリア形成を見据え、発展し続けるまち海老名への受験を検討いただきたいと思います。

部分休業取得者

平成23（2011）年度入庁
保健福祉部 子育て相談課



現在の仕事内容

現在、保健福祉部子育て相談課に配属、子育て講座の開催など、子育てにおける保護者支援や、ヤングケアラーの普及啓発、支援についてなどの業務を行っています。

制度の取得しやすさ

多くの職員が取得しており、私も育児休業から復帰するときに取得するのが当たり前と思って取得を始めました。毎日その時間でというのは、業務内容によっては難しいところもあるかと思いますが、仕事と家庭の両立のためには必要な制度と思います。

制度の取得を考えた際の不安

業務時間中に、業務が終わるか…といった不安が常にあるというのが正直なところです。なかなかやり切れず、職場の皆さんに迷惑をかけてしまっているなと思いますが、皆さん、この勤務体制にご理解いただいているので、皆さんに甘えながら、仕事を続けることができます。

制度を取得して良かったこと、気づいたこと

育児休業からの復帰後、子どもたちが保育園からたくさんの流行り風邪をもらってきます。本当に洗礼だなど思うくらいもらってきます。そのような中、夕食の時間に影響が出ない時間帯で通院ができるというのはとてもありがたいです。また、子どもを自宅で見なくてはならないときに、有給休暇だけでなく、子の看護休暇もあるので、大変助かっています。

受験者へ一言

出産という一大イベントの後、その前と同じように仕事ができるのか…と、皆さんが不安を感じると思います。全く一緒というのは難しいと思いますが、この制度のおかげで、引き続き海老名市で勤めることができます。子育ても仕事も、周りの人に相談すること、抱え込まないことが大切だと思います。一緒にお仕事できることを楽しみにしています！

監督職（係長）

平成21（2009）年度入庁
財務部 企画財政課



現在の業務内容

市の意思決定を行う最高経営会議の運営、市の事業のチェックを行う行政評価、近隣の市町村や民間企業との連携を図る調整、国や県に対する要望活動、厚木基地における騒音問題への対応などを行っています。

印象に残っている仕事

東日本大震災の直後、泊まり込みで市民からの電話対応を行ったことです。

幸い、海老名市では他の地域と比べ大きな被害はありませんでしたが、地震の揺れ、計画停電、原発事故など経験したことのないことに不安を感じる本当に多くの声を受けました。

市町村の仕事とは、このような声の一つ一つ応えていくことなのだなと痛感しました。その後、宮城県石巻市での避難所運営支援にも携わり、多くの経験をさせていただくとともに、自分の働きが少しでも人の役に立っているのではないかと感じる事ができました。

監督職のやりがいを感じるころ、苦勞するころ

係員からは、日々の業務をこのように改善したい、こういう仕事に取り組みたいという熱意を感じています。すぐに実現することは難しいものもありますが、その熱意や能力を引き出せるようにしつつ、必要な業務を着実にを行うことのバランスが難しいと感じています。

第一線で窓口や現場対応などができないさみしさは少しありますが、係員それぞれの頑張りを業務につなげられるように、上司や他部署とうまく調整できるよう頑張っていきたいと思います。

受験者へ一言

市役所の仕事の醍醐味は、お客様である市民のみなさまとの距離が近く、市の取組がどのように還元されていくのかが目に見えることです。

どの部署に配属されたとしても、自分の窓口や現場での対応に、感謝の言葉をいただいたときのうれしさは何事にも代えられません。

自分はふるさと海老名のために仕事をすることにとってもやりがいを感じていますが、海老名生まれの方も、これから海老名をふるさととと思ってくださる方も、みなさんの応募をお待ちしています。

1 勤務条件等

区分	内容
勤務時間	原則、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで（休憩時間正午～午後1時00分） （1日7時間45分/週38時間45分） ※職種や配属される職場によって異なる場合があります。
休日	土日祝・年末年始（12月29日から1月3日まで） ※職種や配属される職場によって異なる場合があります。
休暇制度等	年次有給休暇（年間20日）、夏季休暇（7日間）、私傷病休暇、結婚休暇、忌引休暇、妊娠・子育てや介護に関する休暇、リフレッシュ休暇、ボランティア休暇など この他、育児休業制度、育児短時間勤務制度、介護休暇制度、自己啓発等休業制度、配偶者同行休業制度など有。
フレックスタイム制勤務制度	1週間あたりの勤務時間を38時間45分とし、その範囲の中で1日あたりの勤務時間を「4時間15分以上13時間以下」となるように勤務時間を設定できる制度
テレワーク（在宅勤務）	1人あたり最大で週2回まで実施可能（実施場所は、職員本人の自宅に限る。）

2 給与・手当

種別	内容
給与	海老名市一般職の職員の給与に関する条例に規定する支給条件に応じて支給
地域手当	給与月額12%
扶養手当	要件を満たせば支給可
住居手当（市内在住）	借家（賃貸アパート等）に住んでいる者に月額最高38,000円
住居手当（市外在住）	借家（賃貸アパート等）に住んでいる者に月額最高28,000円
通勤手当	交通機関等を利用している者に月額最高55,000円
期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）	毎年6月及び12月に支給



令和 8 年 3 月
海老名市 市長室職員課